

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

## 株式会社山形県食肉公社

山形市にある株式会社山形県食肉公社の佐藤和樹さん取材しました！

佐藤さんは山形県山形市出身で、2015年に入社しました。

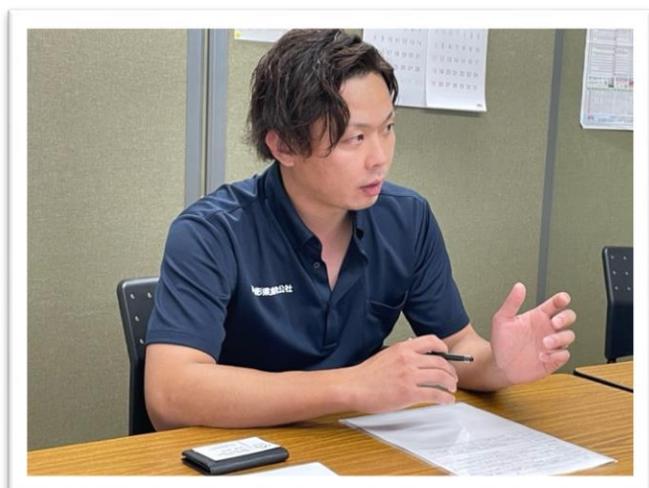
現在は営業二部ポーク販売課で勤務しています。

### (1) 仕事内容編



——現在の仕事内容を教えてください。

私はポーク販売課で働いており、豚の枝肉や部分肉の販売を担当しています。肥育農家さんから仕入れた豚を加工場で処理し、枝肉や部分肉に加工されたお肉を全国のお客様へ販売することが主な仕事ですね。時にはイベントや直売会でお客様と直接やり取りもします。営業としての仕事もあって、販売の調整や企画も担当しています。力仕事が多い加工作業から営業に移って、最初は戸惑いましたが、お客様と直接話せる今の仕事にやりがいを感じています。



——この会社の魅力について教えてください。

当社は、若手にもどんどんチャンスを与える会社です。僕も現場作業から営業に挑戦させてもらえましたし、新しい仕事にチャレンジしやすい雰囲気があります。先輩たちがしっかりサポートしてくれるので、分からないことがあっても安心です。地域のイベントや直売会に参加する機会もあって、地元とのつながりを感じながら働けるのも魅力ですね。

社内の雰囲気もすごく良くて、先輩たちは優しいし、何か困ったことがあればすぐに教えてくれます。仕事をする中で、質問しやすい環境があるのは本当に助かりますね。新入社員の歓迎会や忘年会、新年会などもあり、そういう場でさらに同僚と仲良くなれるのも嬉しいポイントです。福利厚生も充実していて、昇給や賞与があるのはもちろんですが、社員食堂で美味しいお肉を食べられるのも魅力的です。社員価格でお肉が買えるので、バーベキューする時にはついつい買いすぎちゃいます（笑）。



## (2) 職場編



——この会社に就職を決めた理由を教えてください。

当社への就職を決めた理由については、学生時代の経験が大きく影響しています。私は学生時代に焼肉屋でアルバイトをしており、その経験を通して「食」を通じて人と人を繋ぐ仕事に魅力を感じました。人が食を楽しむ場面に関わることにやりがいを見出し、そのような仕事を続けたいと思ったことが、この会社を選んだ大きな理由です。

また、私は関東の大学を卒業後、群馬の自動車関連企業で働いていましたが、長男という

働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業  
株式会社山形県食肉公社

こともあり地元である山形に戻ることを決意しました。山形で地元貢献できる仕事を探していたところ、当社の存在を知り、ここならば地域に密着しながら、自分が目指す「人と食を繋ぐ」仕事ができると感じました。この会社で働くことで、お客様や取引先と関わり、地元の食文化を支える役割を担えることに喜びを感じています。

——入社して良かったと感じることや成長したことについて教えてください。

私は当社に入社して、本当に良かったと感じています。その理由は、仕事を通じて自分の知識やスキルが着実に蓄積され、成長を実感できるからです。特に、お客様から感謝された時には、大きなやりがいを感じます。私は学生時代焼肉屋でアルバイトをしており、人と食をつなぐ仕事に魅力を感じていました。その経験が今の仕事に活かされていると感じます。また、入社後は現場での力仕事を体験し、今年から営業部に異動しましたが、先輩方のサポートもあり、順調に業務を進められています。社員同士の関係も良好で、困った時にはすぐに助け合える雰囲気があり、働きやすい環境が整っています。地域との関わりも深く、直売会やイベントで地元の皆さんと接する機会も多く、地域貢献を実感できることも嬉しいです。



——女性働きやすさや活躍推進の取り組みについて教えてください。

まず、育休の制度が整っており、女性が仕事と家庭を両立しやすい環境が提供されています。また、当社では実力のある社員が管理職に昇進する方針をとっており、性別に関係なく平等に評価されています。その結果、最近では女性社員も積極的に管理職に登用され、例えば営業部門では女性の部長が誕生しています。さらに、かつて男性が中心だった屠畜解体の現場にも、意欲のある女性社員が配属を希望し、業務に従事しています。特に細かい作業では女性の方が得意とされ、その中で結果を出した女性社員が役職を得るなど、男女差別なく評価されています。このように、女性が活躍できる環境は着実に整備され、ここ10年で大きな変化を遂げたと実感しています。

### (3) ある日の過ごし方編

#### ●8:30 【出社】

制服に着替え安全防具・衛生対策を行い冷蔵庫に向かいます。

#### ●8:40 【業務開始】

冷蔵庫で豚カットの枝肉をスタンバイします。

#### ●11:00 【業務内容】

枝肉をカットしない状態で引き取りに来た場合お客様の



働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業  
株式会社山形県食肉公社  
トラックに積みます。

#### ●12：00【お昼休憩】

お昼は社員食堂でみんなでご飯を食べます。栄養バランスも取れ美味しいです。

#### ●13：00【打ち合わせ】

お客様が来社することもあるので打ち合わせを行ったりします。

#### ●15：00【翌日の準備】

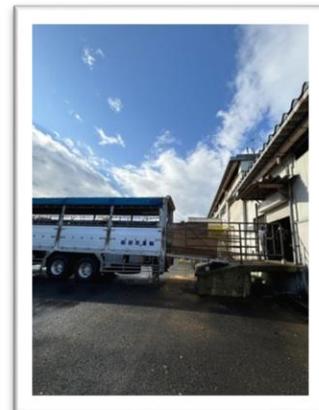
翌日のカット手順書・カット指示書を作成します。

#### ●16：00【改善】

1日の業務を振り返り改善すべきところなどを部署の人と共有する。

#### ●17：00【退勤】

退勤後は趣味であるバスケットボールの練習に行き汗を流しリフレッシュします。



### (4) むらやまでの暮らし編

——村山地域で暮らして良かったことは何ですか。

村山地域も含む山形で暮らして良かったことは、まず食べ物が美味しい点です。特にラーメンの消費量が全国1位であり、ラーメンを楽しむ文化が根付いているのは魅力的です。また、温泉も多く、リラックスできる環境が整っているのも素晴らしいと感じています。さらに、山形の人々は優しく、車を運転していても道を譲ってくれることが多く、温かい地域性

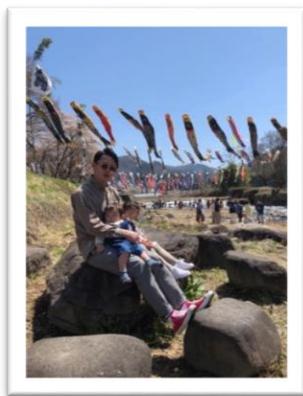
働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業  
株式会社山形県食肉公社

に助けられています。子育ての面でも、自然が豊かで公園や遊べる施設が多く、子どもと一緒に過ごすのに最適な場所だと感じています。特に室内施設が各地に増えており、子育てがしやすい環境が整っている点が大きな魅力です。

——退勤後や休日の過ごし方について教えてください。

退勤後は、趣味のバスケットボールの練習をしてリフレッシュしています。練習を通じて汗を流すことで、仕事の疲れも取れ、次の日に備えることができます。休日は、バスケの大会に参加することもあります。主に子どもたちと公園や施設に出かけて遊ぶことが多いです。家族との時間を大切にしながら、ラーメンや焼き鳥を楽しむのも、私の休日の定番です。

特に、「ラーメン金子」はお気に入りです。また、山形駅前にある焼き鳥屋「小柳」もよく行きます。こちらも美味しいお店で、うちからお肉を提供している事もあり親しみを感じています。ラーメンや焼き鳥は、どちらも地元の食文化として非常に魅力的で、食事を楽しみながら山形の良さを感じています。



——山形の好きなものを教えてください。

私が山形で好きなものは、まず自然の豊かさです。山形は山が多く、登山やアウトドア活動が好きな人にはぴったりの場所です。特に、山や景色を楽しみながら車で移動することができる点が魅力的です。また、冬になるとスノボやスキーが楽しめる蔵王温泉や米沢のスキー場も好きです。車で簡単に行けるので、気軽に外出してアクティビティを楽しめるのも山形の良さだと思います。

それから、食べ物も大好きです。山形には美味しいラーメンや焼き鳥などの店がたくさんあります。車で気軽に食べに行けるので、食を楽しむのにも便利な環境です。山形の自然と美味しい食べ物を満喫しながら、アウトドアやドライブを楽しむのが私にとっての魅力的な暮らし方です。

## (5) まとめ編



———今後の目標や挑戦したいことについて教えてください。

私の今後の目標としては、山形県の山形牛や山形県産銘柄豚を、国内だけでなく世界中の人々に知ってもらい、多くの消費者に安全で安心して食べてもらうことだと考えています。これが私たちの仕事であり、そのために信頼と期待に応え続けていきたいと思っています。10年後には、山形県産の食肉が世界中で認知され、多くの人々に愛されるようになることを目指しています。

また、仕事をする上で重要だと思うことは、やりがいや自分のやりたいことを追求することはもちろん大切ですが、どんな仕事も人と人とのつながりが大きな役割を果たすことだと思っています。そのため、まずは人間関係をしっかりと構築し、信頼関係を築いていくことを大事にしていきたいと考えています。そして、仕事を通じて、周囲と協力し、良い関係を作り上げることが、仕事の成功にもつながると確信しています。

———インターンシップの実施状況について教えてください。

(総務課の植田さん)

私たちの会社では、インターンシップの受け入れについて少し特殊な形を取っています。基本的にはハローワークを通じて募集をかけており、大学生の場合はインターンシップという形ではなく、主に見学を通じて会社の仕事内容を知っていただくという形式をとっています。この理由は、私たちの業界特有の作業内容が含まれており、特に刃物を使用する作業があり、危険性が高いところがあるので、見学を通じて、実際の仕事が自分に合うかどうかを確認してもらうことが大切だと考えています。

また、インターンシップの受け入れについては、大学生に関しては、就職サイトにネット登録を行うことで会社見学に来てくれるようになっています。また、高校生のインターンシップについては、ハローワークからの依頼があり、そのカリキュラムに沿って受け入れを行っています。毎年、ハローワークを通じてインターンシップの受け入れを行っており、その機会を通じて学生に業界の理解を深めてもらうよう努めています。

——これから就職活動を行う学生へのメッセージをお願いします。

どんな仕事でも、人と人が協力して作り上げていくものに変わりはありません。特にチームでの仕事では、お互いの信頼やコミュニケーションが非常に重要です。だからこそ、最初のうちは他の人と良い関係を築くことを大切にしてほしいと思います。

また、私が働く上で一番大切にしているのは、お客様に喜んでもらうことです。それが仕事の原点であり、モチベーションでもあります。お客様に満足してもらえるように努力し続けることが、仕事に対する誇りややりがいにつながるからです。だから、高校生や大学生の皆さんには、今のうちから人間関係を大切にし、協力し合う力を身につけてほしいと思います。どんな仕事でも、人と人のつながりが大きな影響を与えることを理解して、積極的にコミュニケーションを取ることが大切です。仕事を楽しむためにも、周りとの関係をしっかり築いていくことが必要だと思います。



——ありがとうございました！

山形県食肉公社でどのような仕事を行っているのか知れる良い機会になりました。施設の見学を通して、牛や豚の屠畜・解体作業をする過程があっはじめて、普段、スーパーマーケットなどで目にする食肉があることを実感しました。インタビュー内では、職員の方々が仕事を行う上で考えていることや思いを知ることができ、目標を持って仕事に取り組む姿勢が大切であると感じました。また、佐藤さんの「仕事上でも、良好な人間関係を構築することが大切」という言葉が印象に残りました。貴重なお時間を割いていただき、ありがとうございました。

【インタビュー：山形大学 人文社会科学部 門傳千宙、中野凜々香、西村琴羽】

## 株式会社山形県食肉公社

---

★当社は 20 代 30 代の社員が多く、どんな些細なことでも相談しやすい環境だと思います。30 代の管理職も増えてきており、若手社員にも多くチャンスがある会社です！また、福利厚生も充実しており、どんな方でも働きやすい職場です。

- ・所在地 山形県山形市大字中野字的場 936
- ・設立 昭和 57 年 4 月
- ・従業員数 133 名（男性 98 名、女性 35 名）
- ・牛・豚の食肉処理、牛・豚の副産物（ホルモン等）の加工・販売、山形牛枝肉市場（セリ）の開催・運営、山形牛の海外輸出、牛・豚の部分肉加工・販売、牛・豚の精肉加工・販売、牛・豚の営業企画、牛・豚の食肉衛生管理
- ・URL <https://www.ysyokuniku.jp>

